

令和3年度 障害者就業・生活支援センター ティーダ&チムチム 事業実績報告

【総括】

1. 今年度も昨年度に引き続き、コロナ禍の影響を受け職場体験実習や職場訪問などで規制が続いた。一方で企業面談やご本人との相談などオンラインの活用が増加し、また研修等も殆どがオンライン開催となり移動に要する時間を短縮できたメリットはあったが、集合で行う事の必要性も同時に感じた。
社会的現象の一環と思われるが、支援対象者は特別支援学校卒業生だけではなく、実業高校や普通高校の卒業生の支援も増加しており、幅広い教育機関とのネットワークの構築が必要であった。
2. 在職者経験交流会や余暇支援の開催
コロナ禍で延期になった交流会もあったが、対面でビジネスマナー講習会や福祉サービス事業所と協働でワークショップの開催や法人で働く障がいのある方を対象に意見交換会を持つことが出来た。特に法人で働く方々から継続した集まりをもって欲しいとの要望があり令和4年度も計画していきたい。
3. 公共職業安定所と特別支援学校に連絡会議開催
6月と12月に沖縄高等特別支援学校・名護特別支援学校在校生の実習先確保と卒業生の就労状況を把握する事を目的にソーシャルディスタンスを確保し連絡会議を開催した。今年は新たに北部農林高等学校と名護商工の進路担当教諭に参加して頂き卒業生や在校生の現状を共有した。
4. セミナー開催・ハンドブック作成
前年度に引き続き、沖縄県商工労働部の「障害者等雇用開拓・定着支援事業」を受託し、事業の一環で①「自閉症のたどしい理解と支援」②「精神・発達障がい者の職場定着を考える」をテーマに企業向け雇用啓発セミナーを計画したが、コロナ禍で急遽中止となった。
職場定着支援の一環で企業向け「雇用ハンドブック」の作成を行い、今後は企業や関係機関へ配布予定である。
5. 関係機関連携と地域貢献
 - ・沖縄県立名護特別支援学校 学校評議委員
 - ・沖縄県発達障害者支援センターがじゅま〜る連絡協議会委員
 - ・沖縄県キャリア教育・就業支援等の充実事業就業支援ネットワーク委員
 - ・沖縄県北部圏域自立支援連絡協議会就労部会長
 - ・生活保護受給者等就労自立促進事業担当者連絡会上記委員会に参加しているが、中止やオンラインで開催変更もあった。
6. 障害者雇用について
当法人は法律で位置づけられている「障害者雇用率」に於いて3年前から未達成が続いており、管轄行政より指導を受けていたが、法人全体で取り組む事で達成する

事が出来た。これは障害者就業・生活支援センターの業務実績の為と誤解している管理者へ対しての理解促進と CSR（企業の社会的責任）として当法人の各事業所が障害者雇用を理解し共通認識の上、障がいのある方の自立へ向けた取組みの成果です。今後も当法人全体の「障害者雇用」の取組みに対して連携を図り職場定着支援を引き続き行いたい。

7. 苦情受付件数無し

8. 職員異動

定年退職	依願退職	異動	新規採用	臨時退職	臨時異動	臨時採用	増減
1	1	0	2	0	1	1	0

【関係資料】 状況報告（令和4年3月31日現在）

(1) 登録状況（障がい別）

	身体	知的	精神	発達・高次脳機能・難病	合計
在職中	38	150	50	37	275
求職中	79	106	155	28	368
その他	1	2	0	2	5
合計	118	258	205	67	648

(2) 令和3年度新規求職者数（障害別）

	身体	知的	精神	発達・高次脳機能・難病	合計
職場実習	5	16	14	4	39

(3) 職場実習あっせん件数（障害別）

	身体	知的	精神	発達・高次脳機能・難病	合計
職場実習	2	24	4	2	32

(4) 就職件数（障害別）

	身体	知的	精神	発達・高次脳機能・難病	合計
職場実習	3	29	10	5	47

(5) 支援件数（障害別）

	身体	知的	精神	発達・高次脳機能・難病	合計
支援件数	268	2,283	873	404	3,828